

# 平成 29 年度 事業実績報告書

社会福祉法人 海士町社会福祉協議会

## 平成 29 年度 海士町社会福祉協議会事業報告書目次

法人全体に関する事項（会議及び会費・研修会等） .....	-2-
1. 理事会・役員会・評議員会・監査会・経営会議・拡大部長会議・職員会議	
2. 会議・研修会等	
3. 視察・実習・講演・掲載	
4. 会員会費及び篤志寄付等	
法人運営及び地域福祉 .....	-13-
1. 地域住民の多様な生活・福祉課題に向けた総合相談・セーフティネット機能	
2. 成長段階に応じた福祉学習の推進	
3. 地域における子育て支援体制の充実・強化	
4. 福祉団体の主体的参加による地域福祉活動の支援	
5. 地域住民の主体的な参加による生涯現役のまちづくり	
地域支援事業 .....	-17-
1. 認知症高齢者等をかかえる家族に対する支援事業	
2. 食の自立支援事業	
3. 会食サービス	
4. ふれあい・生き生きサロン	
在宅福祉サービス事業.....	-19-
1. 訪問介護部門	
2. 居住（生活支援ハウス事業）部門	
3. 通所介護部門	
4. 居宅介護支援部門	
5. 福祉用具貸与部門	
保健センター事業 .....	-24-
福祉従事者雇用促進拠点施設 チェダッテ .....	-25-

# 法人全体に関する事項

---

## 【平成 29 年度の重点目標・計画の評価】

### 総合方針

海士町は現在人口減少が進んでいる。特に高齢者人口の社会減が大きく、海士町の喫緊の課題である。海士町の未来のために福祉の魅力化は不可欠で、海士町社会福祉協議会の役割と責務は大きい。平成 29 年度海士町の福祉が魅力的になるために 3 つの柱で事業を進めていく。

#### ○生涯現役の「生き生きと死ねる島」へ連携強化を図る

「生き生きと死ねる島」へと目標を掲げた第 3 期地域福祉活動計画が 3 年目を迎える。平成 29 年度は計画の進行状況を社協や福祉関係者だけではなく、海士町全体で評価し計画の見直しを図る。また、農福連携や福祉×産業、福祉×教育など、福祉×（ ）を概念だけで終わらせず、事業所連携・地域連携・多職種連携のマネジメントの強化を図り生涯現役の事例を作っていく。

10 月 10 日地域福祉活動計画の中間評価会を開催した。海士町社会福祉協議会の職員、計画策定委員、福祉関係職員、あすあま、行政が参加し、計画の中間評価、ワークショップ、RX 組青山幸広氏の講演を行なった。改めて生涯現役の「生き生きと死ねる島」を目指し福祉×（ ）で連携強化を図ることを確認できた。

#### ○福祉の人づくり

福祉の魅力化を進めていくために、介護現場の福祉力向上は必須である。専門職として職員の意識を高めスキルアップを行うとともに、認知症や食、感染症など福祉課題解決のための研修を重ねる。また、行政と連携しながら島外の福祉人材獲得を行い、福祉サービスの低下を招かないような、海士町全体の組織体制整備を行う。さらに未来の福祉人材を育成するために、保育園から高校生まで成長期に合わせた福祉学習を福祉法人の連携はもとより町全体で行うとともに、成人に対しても地域の福祉力や家族介護力、ボランティア精神の醸成など生涯学習としての福祉学習を展開する。

職場内研修は、訪問介護部門を中心にテーマごとの研修を行なった。相談支援部門は連絡会を定期的に開催しケース検討等研鑽を図った。町の福祉魅力化研修として開催されたケアプロデューサーRX 組青山幸広氏のゼミに参加し住民の夢を叶えるための職員意識改革を図った。

成長段階に合わせた福祉学習は、保育園から高校、大学までそれぞれの段階で学習を他団体と連携して学習した。中学生と高校生の福祉学習に青山幸広氏の講義を組み、より専門的な学習を行うことができた。また、新しい福祉拠点「チェダッテ」で福祉学習や島外視察・交流を行い、地域と生活に密着した福祉学習を展開することができた。住民(成人)向けの福祉学習は介護者の集いで介護者むけの介護研修を開催。出前サービス「こぞって」では地域での学びプログラムを行なった。

## ○地域福祉の推進

住民の誰もが生き生きと暮らすことができるよう平成 29 年度は地域での福祉を重点的に展開していく。生き生きサロンや会食サービス、民生委員との実態調査などを継続し、社協包摂会議の充実を図るとともに、毎週地区に出向き出前サービスを開催する。また、地域での公的サービスでは対応できない困難事例に、独自サービスの創設を検討しボランティアをマッチングしながら進めていく。平成 29 年度から指定管理を受ける福祉従事者雇用促進拠点施設は、地域の福祉拠点のモデルとなるよう様々な交流活動や研修等を展開する。

住民が地域に出かけ運動やレクリエーション、学びや交流を図ることと社協職員が地域や暮らしを学び、地域のニーズを発見することを目的に、出前サービス「こぞって」を毎週開催した。お山の教室や地域福祉会との協働企画やひまわりツアーなど地域によってメニューを変えた。地区によって参加者は様々だが、合計 450 人(実人数)の方に参加していただいた。

地域での公的サービスでは対応できない困難事例に対して、職員の個別訪問や配食サービスを 365 日対応に広げるなどサービスの幅を広げた。

5月に完成した福祉従事者雇用促進管理施設は「チェダッテ」という名前で指定管理を受けた。2月には満室となり、島外から海士町に福祉従事者として生活を送った。交流施設として地域や学生などが集い海士町の福祉や暮らしを体験している。

# 1. 理事会・評議員会・監査会・経営会議・職員会議

## (1) 理事会

第1回	平成29年5月24日(水)	趣味の部屋	出席8名
議題	<p>(1) 決議事項</p> <p>第1号議案 平成29年度事業報告・決算報告について</p> <p>第2号議案 監査報告について</p> <p>第3号議案 平成29年度第1回補正予算(案)について</p> <p>第4号議案 会員規程の一部改正について</p> <p>第5号議案 旅費規程の一部改正について</p> <p>第6号議案 非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について</p> <p>第7号議案 給与規程の一部改正及び給料運用規程の策定について</p> <p>第8号議案 嘱託職員就業規程の一部改正について</p> <p>第9号議案 就業規程の一部改正について</p> <p>第10号議案 新理事及び監事の選任について</p> <p>第11号議案 定時評議員会の召集について</p> <p>第12号議案 その他</p>		

第2回	平成29年6月8日(木)	趣味の部屋	出席6名
議題	<p>(1) 決議事項</p> <p>第1号議案 会長の選定について</p> <p>第2号議案 副会長の選定について</p> <p>第3号議案 経理規程の一部改正について</p> <p>第4号議案 社会福祉法人海士町社会福祉協議会情報公開規程の策定について</p>		

第3回	平成29年11月1日(水)	趣味の部屋	出席6名
議題	<p>(1) 報告事項</p> <p>1. 会長挨拶及び専決事項報告</p> <p>2. 事務局報告</p>		

第4回	平成30年1月18日(木)	趣味の部屋	出席5名
議題	(1) 報告事項 会長業務執行状況について 11月1日～ (2) 決議事項 第1号議案 経理規程の一部改正及びクレジットカード取扱要領の策定について 第2号議案 育児休業に関する規則及び嘱託職員育児休業に関する規則の一部改正について		

第5回	平成30年3月16日(金)	趣味の部屋	出席7名
議題	(1) 報告事項 会長の職務執行状況について (2) 決議事項 第1号議案 平成29年度第2回補正予算の承認について 第2号議案 平成30年度事業計画及び予算の承認について 第3号議案 監事監査規程の策定について 第4号議案 給与規程の一部改正について 第5号議案 嘱託職員就業規程の一部改正について 第6号議案 評議員会の招集について		

## (2) 監査等

- 内部経理監査 5月22日(月) 監査担当 佐々木裕之 亀谷美也子  
1月31日(水) 監査担当 佐々木裕之 村尾 清
- 海士町社会福祉協議会監査会 5月23日(火) 監査員 道橋幸男 村尾隆久
- 保健所査察(厨房) 9月5日(火) 隠岐保健所
- 財政援助団体監査 11月7日(火) 海士町監査員 中本勝利 上田正子
- 島根県地域福祉課訪問指導 2月27日(火)

## (3) 評議員会

第1回	平成29年6月8日(木)	趣味の部屋	出席14名
議題	(1) 議決事項 第1号議案 平成28年度事業報告・決算報告・監査報告について 第2号議案 平成29年度第1回補正予算(案)について 第3号議案 会員規程の一部改正について 第4号議案 非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について 第5号議案 理事及び監事の選任について		

第2回	平成30年3月30日(金)	趣味の部屋	出席13名
議題	(1) 決議事項 第1号議案 平成29年度第2回補正予算の承認について 第2号議案 平成30年度事業計画及び予算の承認について		

(4) 経営会議(局長・部長会議) 計13回開催

(4/10 4/21 5/22 6/7 8/10 9/19 10/4 12/19 3/13 3/14 3/15 3/28 3/29)

(5) 拡大部長会議 9回開催

(4/24 5/25 8/25 10/23 11/16 12/5 2/2 2/21 3/7)

(6) 職員会議 2回開催

(4/3 3/31)

## 2. 会議・研修会等

### (1) 役員部門

会議・研修会名	研修月	場 所	参加者
社会福祉法人役員研修・集団指導	6月27日	海士町	杵築・道橋・片桐
市町村社協会長会総会	7月7日	松江市	杵築泰久
トップミーティング	8月30~31日	松江市	杵築泰久
隠岐地区社協連絡会	10月13日	西ノ島町	杵築・片桐
市町村社協トップセミナー	1月22~23日	松江市	杵築・片桐

### (2) 会 議

会 議 名	開催月	場 所	参加者
島根県老人福祉施設協議会総務委員会	4月13日	松江市	片桐一彦
島根県老人福祉施設協議会ヘルパー部会	4月14日	松江市	片桐一彦
共同募金運営委員会	4月17日	海士町	法人運営部
共同募金監査	4月18日	海士町	法人運営部
海士町老連理事会	4月19日	海士町	法人運営部
島根県福祉人材確保プロジェクト会議	4月19日	松江市	片桐一彦
民生児童委員協議会定例研修会	4月21日	海士町	法人運営部
産業連絡会	4月27日	海士町	藤田幸子
島根県民生児童委員協議会事務局長等会議	4月27日	松江市	瀧川千恵子
海士町ボランティアセンター運営委員会	5月9日	海士町	法人運営部
法人連絡会(4法人)	5月11日	海士町	片桐一彦
隠岐圏域地域包括ケアシステム推進委員会	5月15日	隠岐の島町	片桐一彦
島根県老人福祉施設協議会総務委員会	5月18日	松江市	片桐一彦
民生委員100周年記念式典 島根県大会	5月19日	松江市	瀧川千恵子
福来デイサービス運営推進会議	5月22日	松江市	片桐一彦
島根県福祉人材確保プロジェクト会議	5月31日	松江市	片桐一彦

会議名	開催日	場所	参加者
みどり会総会	6月4日	海士町	瀧川千恵子
島根県老人福祉施設協議会総会	6月5日	松江市	片桐一彦
島根県老人福祉施設協議会総務委員会	6月7日	松江市	片桐一彦
共同募金運営委員会	6月21日	海士町	法人運営部
島根県福祉人材確保プロジェクト会議	6月23日	松江市	片桐一彦
地域福祉推進委員会	6月23日	松江市	片桐一彦
手をつなぐ育成会総会	6月25日	海士町	法人運営部
健康づくり推進委員会	7月4日	海士町	亀谷美也子
共同募金審査委員会	7月6日	海士町	瀧川千恵子
障がい者就労支援連絡会議	7月7日	海士町	瀧川千恵子
共同募金事務局長・担当者会議	7月20日	松江市	瀧川千恵子
島根県福祉人材確保プロジェクト会議	7月24日	松江市	片桐一彦
島根県福祉人材確保プロジェクト会議	8月7日	松江市	片桐一彦
LoveAMA 会議	8月9日	海士町	片桐一彦
中国地区老施協研修会運営委員会	9月1日	松江市	片桐一彦
しまね女性ファン運営委員会	9月5日	松江市	片桐一彦
民生児童委員定例研修会	9月6日	海士町	法人運営部
海士町老連理事会	9月11日	海士町	法人運営部
海士町ボランティアセンター運営委員会	9月13日	海士町	法人運営部
中国地区老施協研修大会	9月14~15日	松江市	片桐一彦
島根県福祉人材確保プロジェクト会議	9月21日	松江市	片桐一彦
海士町産業文化祭関係者会議	9月25日	海士町	片桐一彦
隠岐圏域地域包括ケアシステム推進に係る意見交換	10月17日	西ノ島町	片桐一彦
隠岐広域主任ケアマネージャー連絡会	10月20日	隠岐の島町	亀谷美也子
県民児協移動理事会对して打ち合わせ	10月31日	西ノ島町	瀧川千恵子
海士町ボランティアセンター運営委員会	11月7日	海士町	法人運営部
年末調整説明会	11月10日	海士町	藤田幸子
身体障がい者協会のあり方について検討会	11月21日	海士町	瀧川千恵子
島根県福祉人材確保プロジェクト会議	11月28日	松江市	片桐一彦
隠岐地域保健医療対策会議在宅医療部会	11月30日	西ノ島町	片桐一彦
3法人施設長会議	11月30日	海士町	片桐一彦
島根県ボランティア活動振興センター運営委員会	12月6日	松江市	片桐一彦
島根県老施協総務委員会	12月6日	松江市	片桐一彦
民生児童委員協議会定例研修会	12月7日	海士町	法人運営部
認知症初期集中支援チーム会議	12月18日	海士町	亀谷美也子
島根県老施協ヘルパー部会役員会	1月29日	松江市	片桐一彦
社協総務担当部課長会議	1月30日	松江市	片桐・瀧川
共同募金運営委員会	2月13日	海士町	法人運営部
島根県共同募金担当者会議	2月15日	松江市	瀧川千恵子
民生児童委員協議会定例研修会	2月23日	海士町	法人運営部
市町村社協事務局長会 地域福祉推進委員会	3月2日	松江市	片桐一彦
主任ケアマネ連絡会	3月2日	隠岐の島町	亀谷美也子
県老施協総務委員会・総会	3月5日	松江市	片桐一彦
民生児童委員協議会定例研修会	3月9日	海士町	法人運営部
海士町ボランティアセンター運営委員会	3月13日	海士町	法人運営部
障がい者就労支援連絡会議	3月13日	海士町	瀧川千恵子
海士町老連理事会	3月27日	海士町	法人運営部
障がい者認定審査会	通年	海士町	片桐一彦
地域ケア会議	通年	海士町	担当者
入所判定会議	毎月	海士町	片桐一彦



(3) 職員研修

○職場外研修 (OFF-JT)

研修会名	研修月	場 所	参加者
市町村社協福祉教育担当者研修	5月12日	松江市	有友咲貴
海士町新人研修	5月14日	海士町	有友咲貴
主任ケアマネージャー更新研修	6月19~20日	松江市	亀谷美也子
認知症研修会	6月23日	松江市	村尾(佐)上野
ボランティアコーディネーター担当者研修	7月13日	松江市	有友咲貴
主任ケアマネージャー更新研修②	7月17~19日	松江市	亀谷美也子
コミュニティソーシャルワーク実践基礎研修	7月20~21日	松江市	有友咲貴
隠岐地域ケアマネ協会研修	7月21日	隠岐の島町	亀谷美也子
労務管理研修	8月1日	隠岐の島町	藤田幸子
人事管理研修Ⅰ	8月1日	松江市	片桐一彦
主任ケアマネージャー更新研修③	8月17~18日	松江市	亀谷美也子
あいサポートメッセンジャー養成研修	8月17日	隠岐の島町	有友咲貴
隠岐ケアマネ協会スーパービジョン研修	8月27日	西ノ島町	佐々木(裕・紀) 亀谷美也子
日常生活自立支援事業専門員研修	8月28日	松江市	瀧川千恵子
中国地区老施協研修大会	9月15日	松江市	福田健二
日常生活自立支援事業生活支援員研修	9月21日	隠岐の島町	瀧川千恵子
隠岐老研 リスクマネジメント研修	10月6日	隠岐の島町	佐々木裕之 瀧川千恵子 亀谷美也子 村尾 清
隠岐老研 リスクマネジメント研修	10月7日	隠岐の島町	福田健二 村尾佐知恵
県老施協デイサービス部会研修	10月11日	松江市	新谷渚
認知症初期集中支援チーム員研修	10月14日	神戸市	亀谷美也子
見守りネットワーク研修	10月16日	西ノ島町	有友咲貴
指導的職員研修Ⅱ	10月25日	松江市	福田健二
コミュニティソーシャルワーク実践基礎研修	11月1日	松江市	有友咲貴
中国ブロック日常生活自立支援事業専門員研修	11月8~9日	松江市	瀧川千恵子
社協地域ワーカー強化研修	11月16日	松江市	有友咲貴
中堅職員スキルアップ研修Ⅱ	11月21日	松江市	福島敏枝
ケアマネ研究大会	11月23日	出雲市	佐々木裕之
会計実務研修	12月5日	松江市	藤田幸子
引きこもり支援研修	12月7日	西ノ島町	有友咲貴
隠岐老研 介護保険制度改正研修	1月20日	隠岐の島町	片桐・福島・福田
コミュニティソーシャルワーク実践研究会研修	2月18日	松江市	有友咲貴
ボランティアコーディネータースキルアップ研修	2月19日	松江市	有友咲貴
社会福祉法人事務局研修	2月19日	松江市	片桐・瀧川
介護保険制度集団指導	3月14~15日	西ノ島町	主任
障害者福祉サービス事業所集団指導	3月26日	松江市	片桐一彦

## ○復命研修

研修会名	研修日	講師・発表者
認知症研修	7月21日	村尾佐知恵・上野綾香
ボランティアセンターの役割と機能を確認する	9月7日	有友咲貴
対象者の理解 家族アセスメントを高める	9月8日	亀谷美也子
実践力を高めるために～共通して必要な技術・知識	11月14日	佐々木紀美
権利擁護研修	12月1日	瀧川千恵子
リスクマネジメント研修	1月16日	佐々木裕之
コンプライアンス研修	1月17日	佐々木裕之
ボランティアコーディネーション研修	2月26日	有友咲貴
地域アセスメント研修	3月8日	有友咲貴

## ○職員研修

### ・福祉の魅力化ゼミ

RX 組青山幸広 夢を叶える介護ゼミ 7月26日（水）

RX 組青山幸広 ヘルパーゼミ 10月10日（火）

「生き生きと死ぬる島を考える集い」10月10日（火） 隠岐島開発センター島民ホール

RX 組青山幸広 デイサービスゼミ 10月11日（水）

RX 組青山幸広 入浴に関する研修会 2月27日（火）

### ・部内研修

「感染症研修」（5月26日） 訪問介護部門

「女性入浴介助研修」（6月28日）通所介護部門

「減塩食研修会」（8月3日）訪問介護部門

「トイレ移乗介助研修」（9月22日）訪問介護部門

「排泄介護研修」（12月1日）訪問介護（通所介護）部門

「嘔吐物処理研修」（12月20日）訪問介護部門

「水虫研修」（3月7日）訪問介護部門

### ・職員研修

吸入療法勉強会 海士診療所（6月21日）

高次脳機能障害の患者の理解と支援 診療所（9月6日）

在宅医療・介護連携交流会 島前病院（9月15日）

大腿骨骨折勉強会 中川貴史OT（12月27日）

### 3. 視察・実習・講演・掲載・広報

#### (1) 視 察

- ・平成メディカル 福祉用具管理工程視察 村尾清（4月12日）
- ・くろまめデイサービス 視察 京都府 片桐・村尾（佐）・上野（6月24日）
- ・隠岐広域連合包括ケアシステム推進会議 名張市視察 片桐（7月3日）

#### (2) 視察（受入）・体験・実習

- ・イオンワーカーズユニオン研修（4月7～8日）
- ・トリニティカレッジ チェダッテ視察（6月9日）
- ・関塾（津山市）来島（6月11日）
- ・国家公務員海士研修（6月14日）
- ・島根総合福祉専門学校実習（8月21～23日）
- ・成蹊高校修学旅行（8月29日）
- ・鳥取大学 竹川ゼミ（9月6日）
- ・島根大学 京ゼミ（9月8日）
- ・島根県立大学 実習（9月13日）
- ・一般社団法人 無限視察（9月25～26日）
- ・上智大学 視察（9月27日）
- ・智頭町役場 視察（10月5日）
- ・LoveAMA デトックスツアー（12月7日～10日）
- ・ケアマネ実務研修（1月31日～2月2日）
- ・高知県土佐町社会福祉協議会 視察（3月16日）
- ・イノベーション研修 日立製作所（3月16日）

#### (3) 講演・実践発表

- ・隠岐ひまわり基金法律事務所シンポジウム 西ノ島町 片桐（6月30日）
- ・地域支援コーディネーター研修 高知県 片桐（10月18～19日）
- ・あまキッチン 大阪府 有友（11月4日）
- ・広島県老人福祉施設連盟 生活相談員研修 広島市 片桐（1月23日）
- ・松江市社協地域福祉研修 東出雲町 片桐（3月1日）
- ・あまキッチン 東京都 有友（3月30日）

#### (4) 掲載・投稿

- ・アンフィニ+（10月）
- ・ワガコト・ワガトコ（3月）

#### (5) 広報・ホームページ

- ・あま社協ニュース 108号発行（11月）
- ・ホームページ リニューアル（12月）

#### 4. 会員会費及び篤志寄付等

※順不同・敬称略で掲載しています

(1) 会員会費 合計 2,121,100 円 (H28 2,094,900 円)

○一般会員 (年額 1,900 円) 1,651,100 円 (H28 1,654,900 円) <納入率 92%>

<地区名>	<世帯数>	<金額>
菱 浦	194 世帯	334,400 円
福 井	40 世帯	60,800 円
西	45 世帯	74,100 円
中 里	130 世帯	205,200 円
東	155 世帯	264,100 円
北 分	107 世帯	152,000 円
宇 受 賀	80 世帯	119,700 円
豊 田	49 世帯	81,700 円
保 々 見	26 世帯	47,500 円
知 々 井	42 世帯	49,400 円
御 波	70 世帯	108,300 円
多 井	10 世帯	17,100 円
崎	71 世帯	121,600 円
日 須 賀	8 世帯	15,200 円

○特別会員 (1 口 10,000 円) 360,000 円 (内 H28 年度分 10,000 円) (H28 340,000 円)

<会 員 名>	<納入額>	<会 員 名>	<納入額>
飯古建設	100,000 円	信栄堂印刷	10,000 円
島根県農協海士支店	10,000 円	北峯工務店	20,000 円
元吉燃料 (有)	20,000 円	中ノ島クリーンセンター	10,000 円
山陰合同銀行海士支店	10,000 円	(株) 宇野	10,000 円
八幡鉄工所	10,000 円	亀田商店	10,000 円
奈伎良海運	20,000 円	ゆうでん海士店	10,000 円
三好石油店	10,000 円	ファミリーショップくわもと	10,000 円
わきたに商店	20,000 円	ムコヤマ	10,000 円
隠岐国商工会	10,000 円	ブックスたなか	10,000 円
岡田石材店	10,000 円	割烹いけだ	10,000 円
桑本石油	10,000 円	あざみ荘	20,000 円

○賛助会員 (年額 3,000 円以上) 95,000 円 (H28 85,000 円)

<会員名>	<納入額>	<会員名>	<納入額>
山内 道雄	10,000 円	花岡 重利	5,000 円
澤田 恭一	5,000 円	大森 芳信	5,000 円
田中 久夫	5,000 円	片桐 憲一	5,000 円
野津 明子	5,000 円	浅野 桃代	5,000 円
町議会一同	30,000 円	片桐 一彦	5,000 円
若林 宣男	5,000 円	脇谷 英孝	10,000 円

○団体会員 (年額 5,000 円以上) あま福祉会 10,000 円 NPO だんだん 5,000 円

(2) 篤志寄付金等 合計 948,815 円 ※順不同・敬称略で掲載しています

○香典返しとして 26 件 770,000 円 (H28 845,000 円)

<氏 名>	<氏 名>
高橋 薫	竹村 誠一
藤谷 国博	安本 定一
佐々木おりゑ	木綿 浩二
大上 英昭	増谷 誠
河内 正和	福本 隆男
桃井 正美	山中 唱晴
和田真理子	高松 誠
竹下 一昭	藤田 求
太田 敬子	山中 進
山斗 英輔	大上 寿子
小中 守	中本 勝利
柏原 正光	万代 昭久
宇野 茂久	
中川 松市	

○見舞い返しとして 1 件 100,000 円 (濱谷 包房)

○篤志寄付金として 4 件 78,815 円 (H28 22,000 円)

<氏 名>
田仲 菊照
早川 恵美子
柏原 レイコ
本多 一弘

# 法人運営及び地域福祉

【平成 29 年度の重点目標・計画の評価】

## ○法人運営部門

### ①事業運営の透明性及び財務規律の強化

社会福祉法人制度改革を受け、財務諸表や現況報告書、役員報酬等を公表した。また、理事会にて会長の職務執行状況の報告を行なった。

### ②社協独自サービスの創設を検討し、地域における公益的な取り組みを行う

地域での公的サービスでは対応できない困難事例に対して、職員の個別訪問や配食サービスを 365 日対応に広げるなどサービスの幅を広げた。

### ③海士町の 4 つの社会福祉法人の連絡会を開催し、法人連携を図る

法人連絡会や施設長会を開催し、制度改革や研修などの情報共有を図った。

### ④マニュアルの整備を行い職員の意識共有を徹底する

マニュアルを整備し、職員一人ひとりにファイルして共有を図った。

### ⑤職員の研修体系を整備しキャリアパスや人事考課制度の検討を行う

給料運用規程を策定し、昇格基準を定めた。

### ⑥拡大部長会議を開催時間の工夫しながら（ランチ会議等）毎月開催し、事業の連携と共有を図る

経営会議（局長・部長会議）を 13 回、拡大部長会議（局長・部長・主任・GL）を 9 回開催（P6 参照）

## ○地域福祉部門

### ①民生委員との調査、サロン活動、個別訪問、子育て家庭調査等、地域の実態把握に努める

出前サービス「こぞって」の開催前訪問、民生委員との地域調査、個別訪問を通して実態把握に努め、気になる人へのアプローチを行った。地域住民同士が繋がる居場所として出前サービスを開催し、四季を感じる内容や介護予防、世代間交流など幅広く行うことができた。

### ②包摂会議を充実させ、包括支援センター等と連携し地域で困った人を見逃さない支援を行う

10 回の包摂会議を開催、事前に検討する議題を提案し会議に参画するという流れで行った。議事録を作成し全体で共有するよう工夫した。多方面からケースに向き合い支援のあり方を検討することができた。また、地域包括支援センターと連携し早期に支援することができた。

### ③ボランティアのコーディネート力をつけると同時に、閲覧システムなどの構築を目指す

県研修会に参加しコーディネーターのスキルを身につけた。また、他町村の情報を参考に様式やマニュアル作成し、ボランティアの受付・活動・振返りの仕組みづくりができた。

ホール内に掲示場所を設け情報発信を行いボランティアの活性化につながるよう工夫した。

### ④地域福祉活動計画の 3 年目の経過と今後の方向性について評価を行う

10/10 社協職員及び各関係機関と実施

第 3 期地域福祉活動計画中間評価会「生き生きと死ねる島」を考える集い 38 名参加

中間評価

ワークショップ福祉×( )について考える

講演「誰もが生き生き 生涯現役の島を目指して」RX 組 代表 青山幸広氏

⑤成長段階に合わせた福祉学習を行う  
(下記 2. 成長段階に応じた福祉学習の推進 参照)

⑥認知症、介護塾、介護予防など地域住民に対して研修会を開催する  
介護者の集いにて介護教室を行った(3/16)  
出前サービスで介護予防体操、口腔体操など行った

## 1. 地域住民の多様な生活・福祉課題に向けた総合相談・セーフティネット機能

日常生活自立支援事業利用者 1 名、民生融金貸付 1 件

- 日常生活自立支援事業 利用者 1 名 (9 月～) 相談件数 延べ 297 件 (前年度 112 件)  
関係機関相談連携 4 件 生活支援員援助 9 回 (9 月～3 月)
- 生活福祉資金貸付制度 利用者なし
- 民生融金貸付 ・民生融金貸付利用者 1 名 (償還 1 名) 相談件数 7 件

## 2. 成長段階に応じた福祉学習の推進

### (1) 幼児期

- 保育園世代間交流 (6 月 7 日・12 月 5 日)
- 保育園園外保育見守り (民生児童委員協議会) (6 月 15 日・22 日)

### (2) 小学校

- 挨拶運動 (民生児童委員協議会) 福井小 (5 月 22 日) 海士小 (5 月 26 日)
- 福井小学校 3～4 年生 福祉学習 (9 月 20 日・10 月 19 日)
- 海士小 子ども議会 インタビュー
- 子ども議会中間発表

### (3) 中学校

- 挨拶運動 民生児童委員協議会 (5 月 24 日)
- サマーボランティアキャンプ 3 年生 (7 月 27～28 日)
- 奉仕活動・交流ボランティア (12 月 7 日)
- チェダッテ看板づくり (3 月)

### (4) 高校

- 島前高校歩こう会 (4 月 18 日)
- 島前高校 夢探求 2 年生 (6 月 11 日)
- 島前高校 田舎力甲子園 (6 月 18 日)
- 成蹊高校福祉学習 (8 月 29 日)
- 島前高校夢探求 (10 月 25 日)
- インターンシップ 1 名 (2 月 6～9 日)
- 島前高校 福祉学習 2 年生「生活と福祉」 (11 月～3 月 5 日間 150 時間)

### (5) 大学・専門学校

- 島根総合福祉専門学校 実習 (8月21日)
- 鳥取大学 地域学 (9月6日)
- 島根大学 法文学部 京ゼミ (9月8日)
- 島根県立大学 看護学部 (9月13日)

### (6) 成人

- 介護者の集い 介護教室 (移乗介助 福祉用具紹介) (3月16日)
- 出前サービス「こぞって」にて 学びプログラム

## 3. 地域における子育て支援体制の充実・強化

- フリースペース型サロン「温たまたまクラブ」利用人数 (延べ) 1,051名 (H28 871名)
- 子育て支援事業 一時預かり 10月 (1名) 11月 (1名)
- 子育てサロン環境整備 遊具の新設

## 4. 福祉団体の主体的参加による地域福祉活動の支援

### (1) 民生児童委員協議会事務局運営

### (2) 老人クラブ連合会活動支援

### (3) 海士町身体障害者協会への支援

- 身障協会の今後の在り方について (島前3町村) (11月21日)

### (4) 手をつなぐ育成会事務局運営

- 交流事業 (10月1日・3月3日)

### (5) みどり会事務局運営

### (6) 海士町共同募金委員会運営

## 5. 地域住民の主体的な参加による生涯現役のまちづくり

### ボランティアセンター運営

#### (1) ボランティア運営委員会の開催 年4回

#### (2) 情報収集・発信

- 広報「ささえあい」 10号(7月) 11号(12月) 12号(3月)
- あまコミュニティチャンネルや社協ホームページを活用した情報発信

#### (3) 住民同士が支えあえる仕組みづくり

- ケースを通して検討する (3か月ごとに評価し記録する)



地域の困りごとについてケース検討を行ったがボランティアにはつながらなかった。

- おはぎづくり・配り活動 → 9月19・20日（32名）、3月17・18日（37名）
- 配食ボランティア活動
  - ・配食ボランティアの集い（6月28日）
  - ・菱浦配食ボランティア集い（7月3日）
- 高校生ボランティア DS ボランティア 4名
- 一般ボランティア 詩吟ボランティア ミックスジュース
- ハーブガーデンボランティア活動 相談対応・IP告知とあまチャンネル活用（年7回）

#### (4) ボランティア活動の啓発

- ボランティア祭 平成29年11月3日(金) 13:00~15:30
- テーマ:「つながり、ささえあい」 ~てとてとて~  
ボランティアスタッフ 116名

#### (5) 災害ボランティア

2月の記録的な大雪の際には行政・民生委員と連携し声かけ訪問、除雪作業を行った。



## 地域支援事業

### 1. 認知症高齢者等をかかえる家族に対する支援事業（介護者の集い）

日時	参加人数	実施内容
7月7日	5名	マリンクラフト（西ノ島町）
10月20日	8名	チェダッテ見学
12月15日	5名	陶芸教室 介護者全員へクリスマスプレゼント
2月15日	8名	介護教室

### 2. 食の自立支援事業（月～日曜日） 6,158食（H28 6,212食）

- ・年末年始・祝日配食サービスにむけて役場と検討会（11月、12月、2月）

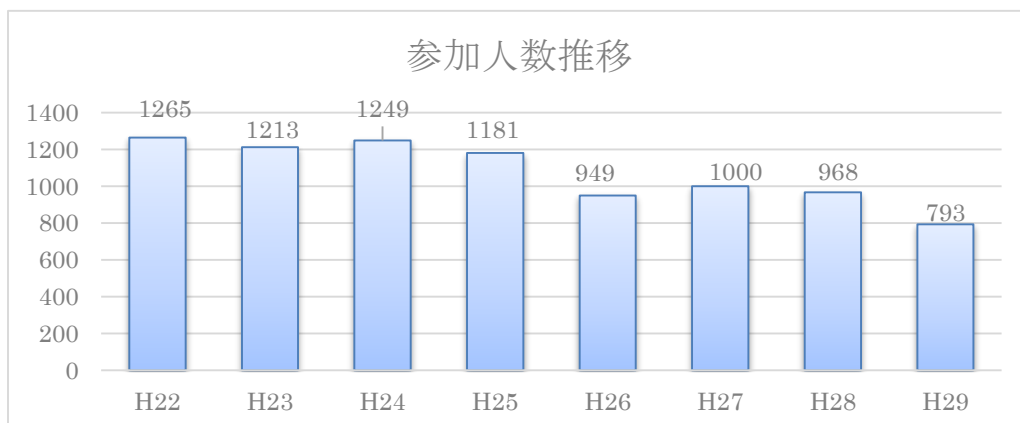
年末年始、2月から祝日の配食を開始し、365日利用可能となった。

障がい児見守り配食サービス事業 39食（H28 120食）



### 3. 会食サービス 参加人数（延べ）計 793人（H28 968人）

7地区で実施（菱浦・福井・中里・東・北分・宇受賀・崎）



#### 4. ふれあい・生き生きサロン 参加人数 1,262 人 (H28 1,516 人)

○実施地区 (9地区)

- ・菱浦にここ会 ・生き生きサロンふくい ・中里なかよし会 ・東生き生きさわやか会
- ・北分生き生き友の会 ・ふれあい宇受賀 ・御波すずらんの集い
- ・多井よら～や会 ・崎野菊の会

○ふれあい・生き生きサロン代表者会 2月28日(水)

講演「高齢者が元気になる秘訣」 RX組青山幸広氏



# 在宅福祉サービス事業

## 1. 訪問介護部門

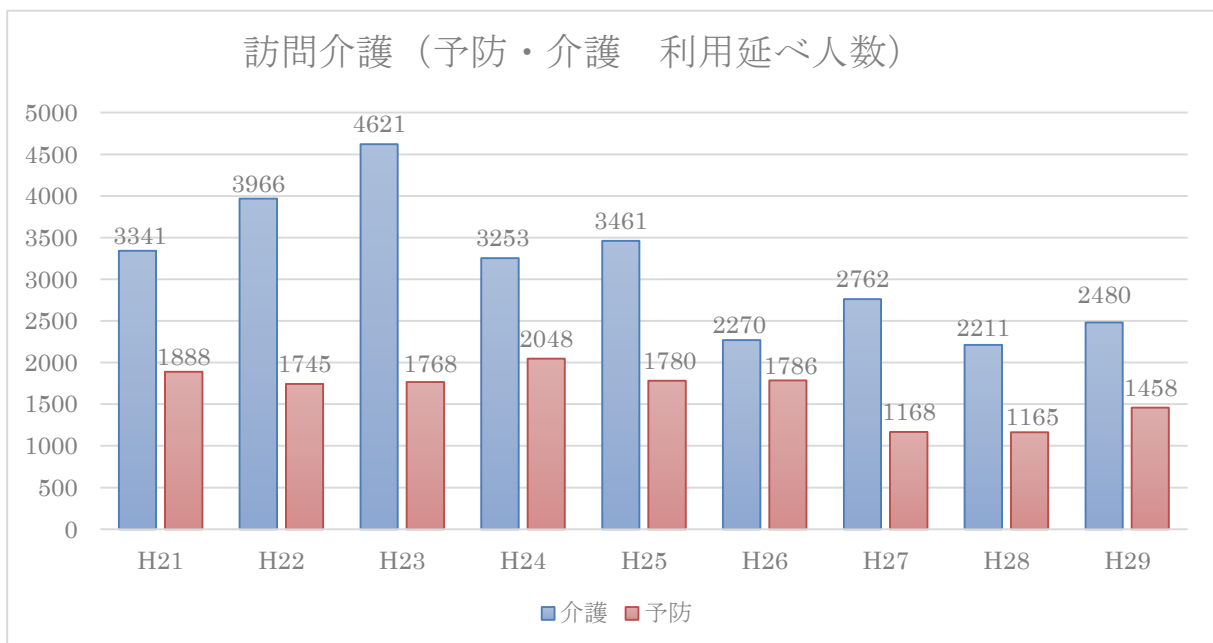
【平成 29 年度の重点目標・計画の評価】

- ①専門職者として介護技術やコミュニケーション能力を高めるとともにチーム力向上を図る  
 (認知症研修・介護技術研修・食研修・障がい研修・生活リハビリ・感染症研修)  
 介護技術の質を高める為に職場外研修に参加した。また部内でもテーマを定め自主研修を実施した。  
 (P9 部内研修参照)
- ②現場実習等を受け入れ、訪問介護員(介護福祉士)の養成を行う  
 島根総合福祉専門学校の現場実習を受け入れ、海士の福祉やヘルパーの役割、重要性を伝えた。実習の受け入れは職員の支援方法の共有や質の向上に繋がった。
- ③海士の暮らしを学び、その人らしい暮らしを支える(個別支援)  
 訪問時、会話等で知り得た利用者の暮らしや得意なことや生活歴等の情報をヘルパーチームとして共有した。今後はデイサービスなどの他事業所とも共有し支援につなげたい。

(1) ヘルパー連絡会 9回開催

(2) 利用実績

介護保険	稼働時間(介護)	利用人数(介護)	稼働時間(予防)	利用人数(予防)
平成29年度	1,949時間	2,480人	1,402時間	1,458人



○精神障がい者居宅介護(H29実績 利用延べ人数66名 稼働時間66時間)

## 2. 居住（生活支援ハウス）部門

### 【平成 29 年度の重点目標・計画の評価】

- ①出身地区の季節行事に参加し、区の一員としての関係作りを支援する  
出前サービス「こぞって」などへ参加を促し地域住民との交流を図った。
- ②K 家事・Y 役割・S 趣味・T 太陽との関わりを切らず、その人らしい生活を支援する  
趣味や特技を活かした行事を行い、外での作業も多く取り入れた。(5)行事・活動参照)
- ③農・福連携事業を検討し、働きに楽しみを持った生活環境を作る  
夏野菜を民生委員さんなどの協力を得て育てた。
- ④プロフィールシートを作成し、他職種共同で生活支援を行う  
個人別の記録表を作成し情報共有を行なった。
- ⑤居住連絡会を定期的で開催し、社協内で情報の共有とケース検討を行う  
連絡会を年9回開催し、他機関との連携図った。

#### (1) 利用状況

○入居者数 16 名 (3 月 31 日現在)

○利用者介護度状況 新規入居者 4 名 退居者 6 名 平均年齢 85 歳

	認定外	支援 1	支援 2	要介 1	要介 2	要介 3	要介 4
H29	3	5	7	1	0	0	0

#### (2) 入居者家族との面談の実施

○入居者家族の帰省等にあわせて実施

#### (3) 情報発信・広報発行

○入居者の家族向けの広報「スマイル」発行 年 2 回

#### (4) 避難訓練・研修

○避難訓練 (1 月 26 日 3 月 20 日) ○感染症研修の実施

#### (5) 行事・活動

4 月 7 日	買い物ツアー	8 月 29 日	流しそうめん
4 月 15・17 日	筍堀	10 月 12 日	栗おはぎ作り
4 月 8 日 5 月 8 日	野菜作り	10 月 27 日	秋の収穫祭
6 月 12 日	コーカラ塾	11 月 3 日	ボランティア祭り(だんご汁)
6 月 13 日	果物バイキング	12 月 1 日	体操・クリスマス
7 月 11 日	お神輿出し	1 月 5 日	初詣・新年会
7 月 20 日	てーさ菓子作り	1 月 23 日	居酒屋・かめや
7 月 21 日	ぼけよけ祭り	2 月 1 日	隠岐そば作り
7 月 27 日	葉作り・学童交流	2 月 15 日	もちつき大会
8 月 25 日	竹やり(流しそうめん)	3 月 30 日	花見(中庭)

○定期的に行ったこと (アロマ・散歩 ・カラオケ ・書道 ・朗読 ・体操)

### 3. 通所介護部門

#### 【平成 29 年度の重点目標・計画の評価】

- ①利用者の在宅生活力向上を目指し、PDCAのもと個別支援を行えるように職員の意識を高める  
在宅生活向上を目指し個別に情報収集を行なったが、実践に繋がらなかった。
- ②介護技術を研鑽し、事業所内で介護技術の標準化を図るとともに、地域や介護者へ発信を行う  
介護技術や利用者対応方法を職員で統一できるよう協議した。
- ③生活支援ハウス事業と連携し、「生き生きと死ねる島」のモデル活動を行う  
職員の減少によりデイサービス内の事業調整が精一杯で、生活支援ハウス事業はもとより、他事業との連携を図ることができにくかった。
- ④出前サービス「こぞって」を毎月開催し、介護予防や福祉の啓発を行う  
体操やレクリエーション、季節や地区に合わせた活動を行なった。老若男女の参加を促し、地区の子どもやお山の教室の子ども達と交流することができた。
- ⑤栄養摂取や口腔ケアを研修し、介護食モデル活動を行う  
著しく体重が低下したり、食欲のない利用者に対し、介護者との情報共有を行いながら、栄養補強飲料の提供を行ったり、嚥下機能が低下した方への食事形態を調理担当職員と相談し提供した。

#### (1)年間行事

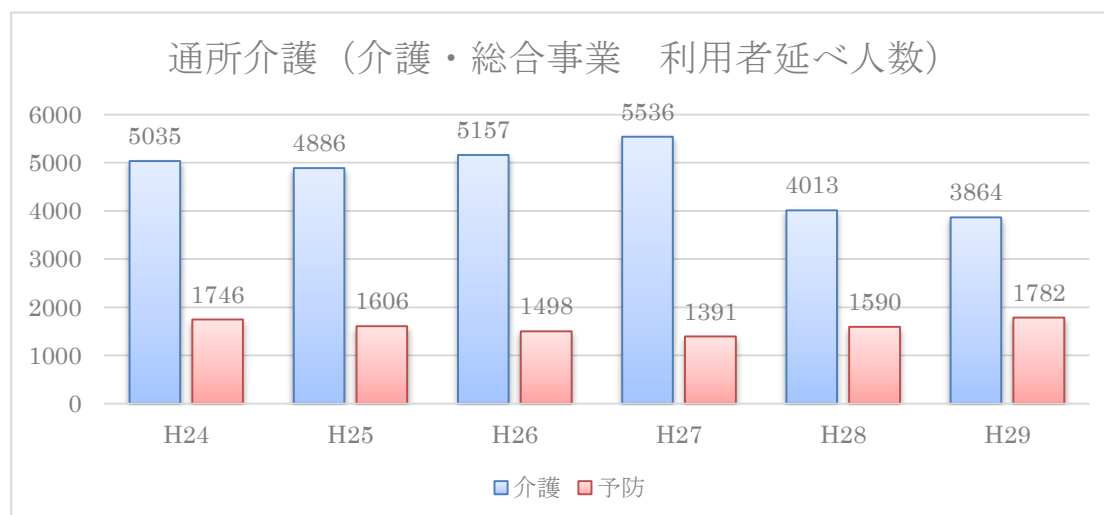
6月	慶照保育園交流事業	歌 交流
7月	ぼけよけ神社大祭	祭典、高校生ボランティアと神輿を担ぐ
8月	盆踊り	
12月	慶照保育園交流事業	神楽 民謡 交流
12月	忘年会	昼食会（寄せ鍋、すき焼き、おでん）
2月	詩吟ボランティア	詩吟
3月	狂言ボランティア	狂言 雅楽 茶道

#### (2)利用実績

##### ○通所事業延べ利用人数

	介護給付	総合事業	こぞって	障がい者
利用者数	3,864人	1,782人	448人	48人

#### (3)連絡会議 4回 開催



## 4. 居宅介護支援部門

### 【平成 29 年度の重点目標・計画の評価】

- ①介護保険制度に基づき、住民が安心して暮らせるよう情報発信や相談支援を行なう  
総合事業が本格始動することを受け、住民が混乱なくサービスを利用し、地域での暮らしがなせるよう情報発信や後方支援を想定していた。実際大きな状況変化も無く、利用者に対する相談支援には丁寧に対応することを心がけたが積極的な情報発信は行わなかった。
- ②アセスメント力を深めケアプランの定期点検を行い専門性の構築を図る  
日常的に連絡会を開催し、その中で継続的に事例検討を重ねることで専門性を深めた。
- ③社会福祉協議会の使命のもと、包摂会議や民生委員、住民からの情報を受け相談対応を行う  
パソコンソフトを活用し法人内で情報共有と問題提起を適宜行なった。

#### (1) 介護支援専門員設置状況

- 介護支援専門員 3 + 1 名体制で運営した。  
(主任介護支援専門員 1 名、介護支援専門専従 2 名兼務 1 名)

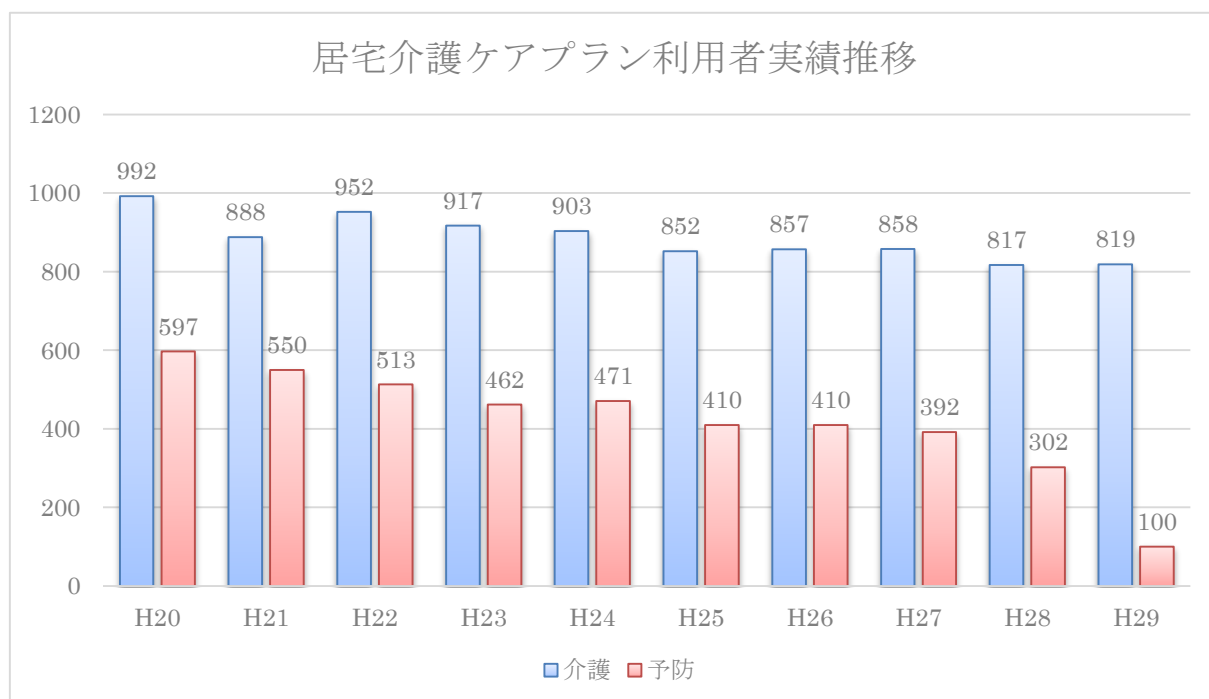
#### (2) 居宅介護予防計画利用実績 (要支援 1 ~ 2) 100 件

- 海士町包括支援センターの受託事業を継続 (4,300 円/件 新規@7,300 円)

#### (3) 居宅介護計画利用者実績 ; 居宅介護計画利用者のべ件数 819 件 (新規 31 件)

#### (4) 住宅改修 8 件 福祉用具購入 5 件

#### (5) 連絡会議 22 回開催



## 5. 福祉用具貸与部門

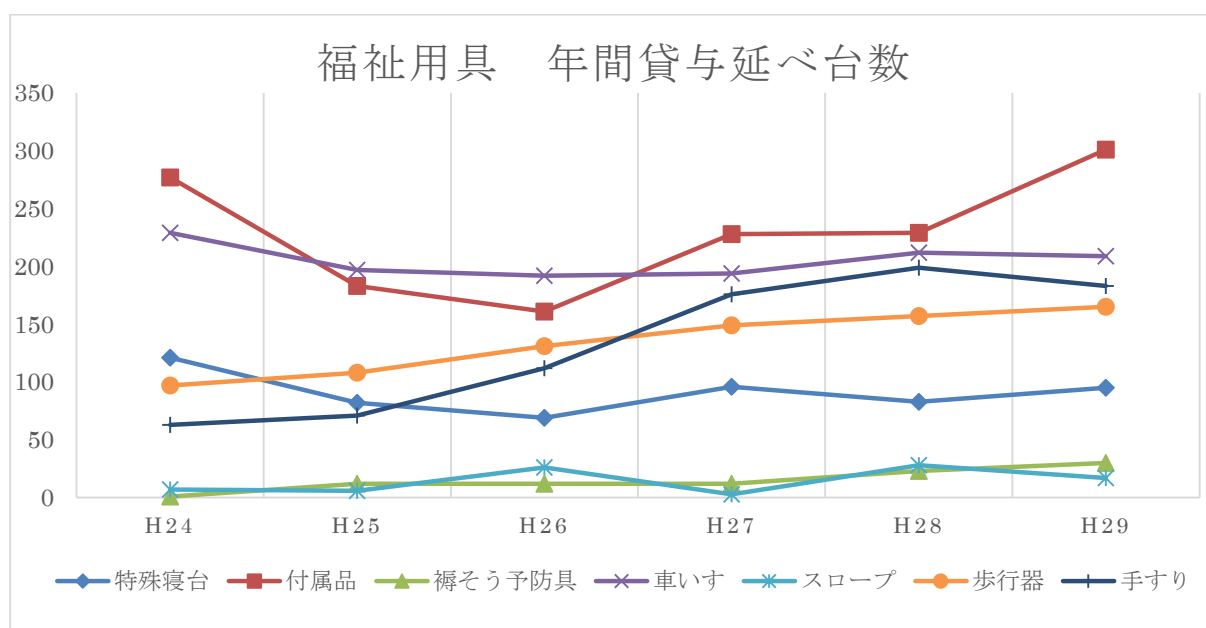
### 【平成 29 年度の重点目標・計画の評価】

- ①利用者のニーズに合わせた福祉用具を迅速に提供する  
ニーズに合わせた商品を委託先と納期調整や電動ベッド等をストックすることで迅速に対応できた。
- ②適切な福祉用具選定のため、デモ機を整備して提供を行う  
カタログの相談やサイズの違うデモ機を取り寄せ、状態に合わせた用具の提供に努めた。
- ③専門の知識を高め、情報収集・研修へ参画する  
研修会への参画はできなかったが、委託先へ商品の確認や新しい機器情報仕入れることに努めた。

#### (1) 利用実績

利用実績（年間貸与延べ台数）

	特殊寝台 (電動ベッド)	付属品 (ベッド付属)	褥そう予防具 (エアマット)	車いす (電動含)	スロープ	歩行器	手すり
平成 29 年度	95	301	30	209	17	165	183





# 保健センター事業

## 【平成 29 年度の重点目標・計画の評価】

### ①読書スペースの整備を行う

海士町が勤める「島まるごと図書館構想」の活動推進につなげようと、保健センターでも事業に取り組んできた。居住入居者や外部利用者の読書利用は増加しており、今後も町民の皆様へ図書を通じ憩いの場となるよう取り組んでいく。

### ②ひまわり保健室（ケア&キュア構想）の企画の整備を行う

今年度も「島のほけんしつ」と連携し、利用者の癒し空間に取り組んできたが、6月より居住部門に移行した。

### ③福祉避難所としての災害に備えた整備と訓練を行う

福祉避難場所として緊急時の食料確保及び備品保管等、行政と協議中である。

### (1)施設衛生活動

○清掃ボランティア活動（海士中） ○ハーブボランティア活動（花壇整備）

### (2)各設備点検・修繕及び水質検査の実施

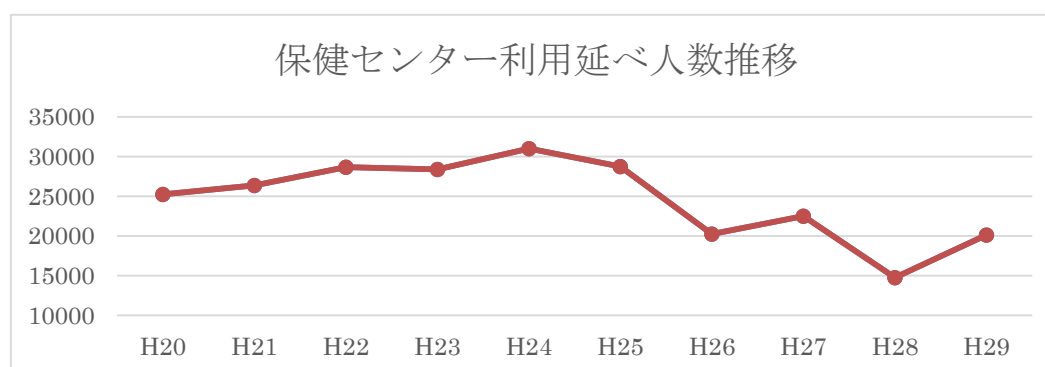
○水質検査（1回/月） ○レジオネラ菌検査（2回/年） ○ボイラー点検（2回/年）  
○ろ過機点検（1回/年） ○施設雨漏り調査 ○ホール内空調設備修繕工事

### (3)各主団体の施設利用支援

○海士小学校プール事業（7月～9月4回）  
○海士町教育委員会生活合宿事業（11月）  
○エアロビクス教室（毎週1回）  
○運動教室事業  
○島根県社会保険協会 温泉利用助成事業  
○公立学校共済組合施設利用助成事業

### (4) 利用実績

H29	入浴	サウナ	プール	トレーニング	合計
	9,247	4,802	5,485	606	20,140



## 福祉従事者雇用促進拠点施設 チェダッテ

○平成 29 年度より指定管理を受けた。5月に引渡しがあり新事業なので手探りで進めた

入居は5月に1名からスタート。7月に1名、9月に1名が入居、2月に専門学校の実習生が入居し満室になった。(現在は3名 3/31)広大な庭は北分区の方が一部畑で使用し、入居者に野菜を提供してくださっている。草刈りは入居者だけでは間に合わず委託した。古民家での共同生活ということで、使い方等ですれ違いもあった。今後は3ヶ月程度に1回、指定管理者として入居者との会を持つことにした。

交流スペースは福祉学習や関係団体の会議、LoveAMA(行政企画)、島外からの視察受入れ、地域交流などで使用した。なるべく多くの人が利用できるよう、ある程度の自由度を持たせながら、入居者が負担にならないようにルールを決めた。高校生が宿泊を希望したが、原則、高校生以下の宿泊は保護者同伴とした。

簡易宿所としての利用はほとんど無かった。

古民家を改修したため、隙間などがあり、夏場の虫や冬場の寒さなど検討が必要。また収納スペースが無いため、簡易宿所用の布団置き場を検討する必要がある。

